

# 科目別よくでるポイント講座

## 総合問題

講師：飯塚慶子

[keikoizuka.com](http://keikoizuka.com)

講義の内容、資料等の著作権は、講師に帰属します（試験問題やイラスト等を除く）。  
事前の承認なく、複製・頒布、録音・配信等の行為をすることはかたくお断りいたします。

## 第36回 総合問題4

**次の事例を読んで、問題123から問題125までについて答えなさい。**

Fさん（20歳，男性）は，自閉症スペクトラム障害（autism spectrum disorder）と重度の知的障害があり，自宅で母親（50歳），姉（25歳）と3人で暮らしている。Fさんは生活介護事業所を利用している。事業所では比較的落ち着いているが，自宅に帰ってくると母親に対してかみついたり頭突きをすることがあった。また，自分で頭をたたくななどの自傷行為もたびたび見られる。仕事をしている母親に代わり，小さい頃から食事や排泄の介護をしている姉は，これまでFさんの行動を止めることができていたが，最近ではからだが大きくなり力も強くなって，母親と協力しても止めることが難しくなっていた。家族で今後のことを考えた結果，Fさんは障害者支援施設に入所することになった。

# 第36回 問題123

次のうち、Fさんが自宅に帰ってきたときの状態に該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 学習障害
- 2 注意欠陥多動性障害
- 3 高次脳機能障害
- 4 強度行動障害
- 5 気分障害

Answer

## 第36回 問題124

Fさんが入所してからも月1, 2回は、姉が施設を訪ね、Fさんの世話をしている。ある日、担当の介護福祉職が姉に声をかけると、「小学生の頃から、学校が終わると友だちと遊ばずにまっすぐ家に帰り、母親に代わって、弟の世話をしてきた。今は、弟を見捨てたようで、申し訳ない」などと話す。

## 第36回 問題124

介護福祉職の姉への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「これからもFさんのお世話をしっかり行ってください」
- 2 「Fさんは落ち着いていて、自傷他害行為があるようには見えませんね」
- 3 「お姉さんは、小さい頃からお母さんの代わりをしてきたのですね」
- 4 「訪問回数を減らしてはどうか」
- 5 「施設入所を後悔しているのですね。もう一度在宅ケアを考えましょう」

Answer

## 第36回 問題125

**Fさんが施設に入所して1年が経った。介護福祉職は、Fさん、母親、姉と共にこれまでの生活と支援を振り返り、当面、施設で安定した生活が送れるように検討した。**

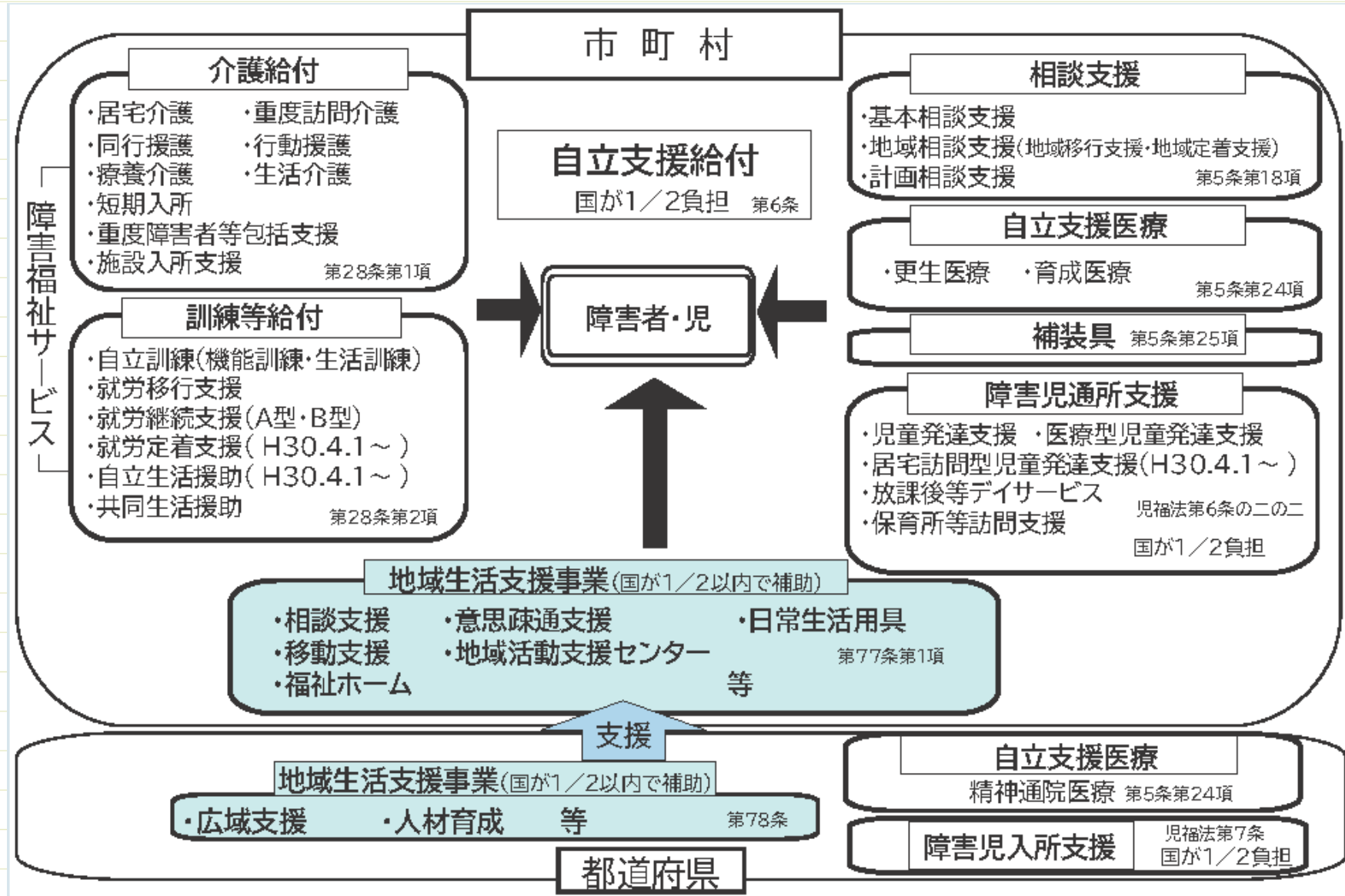
# 第36回 問題125

次のうち、Fさんの支援を修正するときを利用するサービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域定着支援
- 2 計画相談支援
- 3 地域移行支援
- 4 基幹相談支援
- 5 基本相談支援

Answer

# 障害者総合支援法



資料：厚生労働省障害保健福祉局